



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆たった一つなのに、広島市の40%の人が、きせいになってしまったことを想像していると、無さ〜んというのをはるかにこえてしまいます。日本の政府は、何とかして止めることができなかったのが、不思議に思いました。こうした戦争がなぜおきてしまうのが、止めることはできないのか。日本は今では戦争は無いが世界のどこかでは、まだ戦争がおこっていると、悲しいとは言いきれないほどです。

人が人ではないように見えるやいしゅん、何万人もの人が命を落としてしまうほど強かなものだ、改めて知りました。こんなことは、二度と起きないようにしてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分は、目の前で歩いていたら
たった数秒のうちに消えてしま
たら自分はおどろきで声も出なく
なってしまうと思います。

そして七ヶんのうちに人を消して
もう原爆暴はぜったいなくすべ
きだと思いました。

そしておとすときにB29のエンジン
に乗っていた人たちとはどのよ
うな気持ちだったんだらうか
と考えました。

いまでも原爆を持っている国は
日本でおこったことを見てほし
いと思います。

そしてこういうことが無くな
って平和になってほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この話を聞いて特に記憶に残った話は、広島に投下された原爆「リトルボーイ」のお話で、原爆が爆発した時は、「ふた」生活に侵襲している太陽は、「6000℃」で地球から外れていても、熱さは伝わってくるのにもわからず、原爆は、地上から高さ約600mほどのところに、太陽より熱さを持つ「7000℃」の物体(原爆)が、ある日、急に落ちてきたら、えうしうな奇跡が、自分に起きなければ、正直、生きて帰ってこれるという想像はつきません。もし、呼吸はしていても、目が覚め、次、自分の身を見た時は想像のつかないほど、ボロボロな体になってしまっていると思います。そんなことが起きないようにしていくのが、目指す目標だと思っています。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆について、それが起きていたことは知っていたけど、
そんなにくわしくは知りませんでした。

お話を聞いて、知らなかったことはもちろん、びっくりしたことか
たくさんあっておもしろかったです。

一番びっくりしたことは、原爆を9632mから落としたという
ことです。9632mは、世界一高い山、エベレストより高く、そんな所
から原爆を落したと思うと、ほんとうにすごいです。

あとその原爆が爆発時にその温度が太陽よりもあつい7000℃
ということもとてもおどろきました。

地上600mで7000℃の物があるということがほんとうにすごいし
今の東京にそんな物があるたらほんとうにたいへんだと思います。

今の時代、原爆ではなくミサイルがあるのでそれもすごいです

原爆は本当にあってはならないしみんなが平和にくらせられないと

今のこの世の中、こんなことが起きたら本当にたいへんなことになるので
あってはならないと強く思いました。

あと、広島に行ってみたいなとも思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆は、「とても怖いものだな」と新たに思いました。また、このようにつらいことが実際に起きたと思うと、背中の後あたりが「ズク」としました。もうこのようなことは絶対に起きてほしくないと思いました（日本以外の外国でも）。「リトルボーイ」一つでも簡単に14万人も殺してしまふので、ものすごく怖い物だなと思いました。また、どうやら「リトルボーイ」を作ったのかなと疑問に思った。なぜなら、太陽の表面温度よりも高い温度を一しゅんにして作れるものはすごいなと思、たからです。

原爆は、一しゅんにして、人々をおろし、元の姿をなくしてしまう地震よりも怖くてかなしいもの。という印象をもちました。先生のお話の中にあつた「リトルボーイが、パラシュートでおちてきたと思、ていた人々が多か、たとい、つていたけれど、パラシュートだけで、4セもある「リトルボーイ」をゆくりおろすことはたぶんできないと思、いました。→パラシュートの意味がなくほかくおちていくと思、います。（時速300kmよりは少しおろくなるかもしれな、いけれど。）

私はこの話を聞いても、と原爆のことを知りたくな、いと思、いました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

(表)

11/2

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生の話とまいて戦争の恐ろしさを改めて感じる事ができました。話を聞いて人の命の大切さなどを知らることになりました。今の自分はあおせたということが分かりました。原爆先生の話の内容からびっくりすることや、悲しくなることがたくさんあり勉強になりました。もう日本で戦争はやってほしくないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7000℃の少年とは「7000℃のリトルボーイ」。

広島に投下された原子力核爆弾縦約3m重さ約4tの巨大な爆弾が爆発したときの大きな火の球は、約7000℃になった。しかし、リトルボーイ自体が7000℃にはなっていたのではないのに、3m四方の巨大な火の球は、少し不思議。

(しかし、リトルボーイが「少年」と呼ばれているのは何か心に響くものがある。現在は原爆が落とされ焼け野原となった広島県の広島県産業奨励館が「原爆ドーム」となって、負の遺産としてユネスコの世界文化遺産に登録されている。負の遺産とは、第二次世界大戦、太平洋戦争をはじめとする戦争の惨禍を後世に伝えていくためのものであるが、それだけでなく、あまり戦争に関心がない人、むしろ、大規模戦争に対して、批判をしてきた人までもをまきこみ、たくさんの人々の人生を奪ってしまふ、これに対する、せめてものつじたり役割りを果たして、さようならが、原爆が落されてから、約1.2秒でこの世から消えてしまった人の悲しみ、戦争が起きてしまった人々の命をうけたら、どうするか、それを後世に伝える。もうこんな戦争を二度起こしてはいけない。という強い決意につなげていきたい。戦争は人より自らの立場、自分が守りたい人たちに、より戦争が起きていること、たまたま、たまたま人を殺し後悔し、おぼろげ

戦争はと必要のないものだと思ふ。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原子爆弾など自分の生まれるだいぶ前だと思っ、ていて全く他人事にしていました。しかしぼくは、原爆先生の話を聞いて原子爆弾についての事が全く他人事ではないように思うようになりました。そして改めて原子爆弾のおそろし、危険さを知りました。あとは原子爆弾の熱さにぼくは、とてもという言葉で表せる事の出来ないほどび、くりしました。なぜなら太陽、太陽はぼくの知、ている物の中でも一番熱い物で6000℃になります。しかし原子爆弾は太陽の熱さをこえる熱さで7000℃にもなります。太陽は近づくととけてしまいきますが、原子爆弾は体かあとかたもなく消えてしまいます。ぼくはそこにび、くりしました。そしてぼくは、原爆先生から原子爆弾の色々な話を聞いて2度とこのような事はあ、てはならないなと改めて思って伝え続けようと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話聞き終えて、印象に残ったのは原爆のおそろしさです。原爆はおそろしく、たくさん人が死んでしまうということは知っていましたが、それ以上に悲うで、聞いているだけで胸がいたくなるほどでした。また、大ヤケドをおった人のエピソードも印象に残りました。皮膚がズリッと垂れたり、助けて... 軍隊... と発する言葉は、原爆のおそろしさのものを語っているのだと思いました。本当に胸が痛みました。衝撃だったのは、人が一瞬間で消え去ることです。およそ2万人ものたくさんの命が1秒たりともで、死んでしまうということを知った私は言葉に言い尽くせない程の、複雑な気持ちでした。ですが、原爆のおそろしさ、命の大切さ、尊さが改めて分かりました。ひどくおそろしい原爆ですがこのことを伝え、命を大切さを分かる人が増えるといいと私は思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この授業で、戦争をやりたいか、たり進んでやらなかった
国民まで、死んでしまうのは怖いそうだと感じました。
また、池田さんのお父様は、17歳という若さなのに、
死んでしまった人を運んだりする上、班のみんなにしっかりと
指示できるのは、すごいし、自立していると感じました。
また、死んでいく人をおいていくときの気持ちはどの
ようだったのかをみたいです。そして、戦争が終わった
後、どのような気持ちだったのか、直接聞いて
みたかったです。また、戦争中は生きていたいという希望
がどのようだったのかみたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生へ、

私は、今回この学習を通して、思ったことが2つあります。まず、1つ目は、どうやって『リトルボーイ』(少年)を開発したかです。太陽の表面温度よりも高い7000℃というあつさをどうやっていれた(作った)のか。ということです。

このごもんは自分で調べたいと思います。 ← 11ホ

2つ目は、なぜ『リトルボーイ』をたぬすのが日本になつたのか。広島や長崎に住んでいた人は、何もしてないのに『リトルボーイ』(広島だけで、被爆者数24万人、死者数4万人、死亡率40%)にころされました。

私は、いつまた戦争が起こり、原爆が落とされるか、分かりません。でも、もし原爆が落ち無きすた、たふ人を助けるとボランティアをしたいと思ひます。

そして、原爆ドームに行つてみたいと思ひます。原爆先生のお父さんがぼろと書いた『キレキレ』といふ人形や、写真を見て、原爆のおそろしさを、もっと知りたくなりたいです。

今日は本当にありがとうございました。

2018年11月2日 赤松小 6年より



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日の授業であまりこのい
話は聞いたことがないのでとてもびっくり
しているところやきょうふもありました。
けどとても大切な思いをして
原爆の片付けや被爆者を助け
おと元氣張って来たのかと思います。

特に真空地帯の空気が上昇して
この雲が下がるのかおどろま
でした。

あと死亡者が5人に2人が
死亡してゆくこともおどろま
でした。日本には罪はないのに
どうして生エライサイをとばしたのが
本筋で驚くことはいくらもな
ります。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

おどろいたことがいっしょありました。それは、爆発した時の
 中心の温度が100万℃を越え表面が7000℃爆心地
 から半径300mのところに約3000人ほどの人が
 衝撃波の速さが音速より速い、毎秒440m たた
 こと、広島市人口が35万人に比べると死者数が
 14万人 死亡率40%と毎人に2人たつたことです。
 爆発した時の表面が太陽の6000℃よりも高く
 100万℃はもとたかひのイメージがっせきせん
 でした。当時の男性は後片がけで(死体の処理や
 清掃活動など)とても苦労していたと思ひました。
 今回話をしてもうた中で広島かどれたけ
 大変た、たかひがけたので長崎でも大変た、た
 思ひました。歴史の結果は分せ、ていたけれど
 今回の時間下原爆かどれたけとう下しな
 方がいひかどれたけ戦争かかな、平和か
 いひかか分かりました。今でも核兵器を使
 いる国がたひ原爆と同じたと思ひます。せ
 めさせることは難しいと思ひるので日本は絶対に使
 へないと思ひました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて当時の原爆が投下された
 広島の様子などをくわしく聞いたのは初めてで
 爆心地の近くは何もなくただ灰色の世界であるのか
 原子爆弾の危険・こわさ、強さなどを物語。とい
 うなと思いました。熱線、ゆげき波、放射線など
 としても危険で恐ろしくこれからは世界中にこういう
 人を殺すような兵器は二度と使ってはいけない
 なと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

ぼくは原爆に関しては放射線しか知りなかったけど熱線やほうげき波などを知り、原爆がおそろしいことを知った。原子をどうあつかうのが今後注目だと思える。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆投下によりたくさんの方の被害を受けたことは知っていたけれど、何の罪もない市民が被爆し、苦しみもがいていることを改めて聞いて、とても怖い物だということが分かりました。広島に投下された原爆「リトルボーイ」が4セあり、暴発後の温度が周りは700℃中心が1000000℃、地面でも3000℃もあるということに驚きを感じました。また、京都に原爆を落とさなかったのが日本のためではなく、5分ほど早くするたためだと聞いて、激しい怒りを感じました。また、原爆による放射線なども実験し、観察しやすいような土地を選んだことについても、激しい怒りを感じました。他にも衝撃波が音速を越えたり、かんじょうに作られている電話局も壊れたり、死亡率が40%もあり、広島市民の5人に2人が亡くなってしまふほどの威力があったことなど、驚くことがたくさんありました。このように原爆が世界にあるということが怖いことだということも分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

11/12

1945年8月6日に池田 義三さんをふくめ
る9名の人たちが江田島から広島に行く
理由が食料などの軍じぶっしを取りにい
くためと、戦争のために必要なものが
広島にあなということ、広島に原子力爆弾が
投下したんじゃないかと思いました。

今は原爆ドームが世界遺産に選ばれて
世界に原爆のひさびさが伝わるこゝになっ
てよかったです。また、この話をきいて
次の人へと伝えてほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆の話を聞いたのは今日がはじめてでした。ぼくは今日話を聞いて、原爆がとれただけおそろしい物かということも学ぶことが出来ました。もし、ぼくがその時、陸軍に入隊をしていて、災害に巻きこまれた人々を見たら、なぜ関係のない人々まで殺す必要があったのかなと思っていたかもしれませんが、今原爆が落ちて来たら、またたくさん人の命がうばわれてしまうので、原爆はもう二度と使用しないでほしいと思います。今北朝鮮ではかく実験などが行われているけど、今の時代だったら、もっとおそろしい兵器が作れてしまうので、そうなる前にかく実験などをやめてほしいです。ぼくの近くにも原爆先生のような人がいるかもしれないので、近くに住んでいたら、もっと原爆についてくわしく聞いてみたいですね。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今日、原爆先生の授業を90分間も聞いて、たくさんのことを学びました。候補になった都市として広島だけでなく、京都や横浜、新潟もなっていたことにおどろきました。もし京都に原爆が落とされていたら、今も残っている歴史ある建物はどうなっていたのかと思いました。私のよく行く横浜にも原爆が落とされていたらと思うとぞっとしました。また、被爆率70%、死亡率40%という原爆の怖さも学びました。熱線、衝撃波で一瞬で死んでしまう人もいたと聞いて、自分もその被害にあっていたらと思うと怖くてたまりませんでした。原爆が終わっても死体のしほりなどをいなくない人たちはすごいと思う、どんな思いで行ったのかと思いました。今でも原爆による病気で苦しんでいる人がいると聞いて、被害にあった人は何も悪いことをしてないのにと思う、かなしくなりました。今日は、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

このいとこのお話を聞きました。お話を
聞いたら、お話を聞いて、お話を聞きました。
お話を聞いたら、お話を聞きました。お話を
聞いたら、お話を聞きました。お話を聞きた
ら、お話を聞きました。

先生のお話を聞いて、原爆の
お話を聞いたら、お話を聞きました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/2

私は今回原爆の授業を聞いて、あらためて原爆は恐ろしいものであり、もう絶対にあってはいけないものだと思います。なせなら、いっしょにして2万人が亡くなるような大規模な災害のようなものだからです。だからもしも戦争が起っても、もう二度と同じことが起きないでほしいと思います。また今回の授業で心に残ったことが2つあります。1つ目は戦争で兵隊に助けられた人はいる、ということですね。今回は女の人を助けたことでしたが、あんなに過酷のじょうたいで人を助けることはとてもすごいことだな、と思いました。2つ目は池田義三さんが言った「こんなにやさしくはない」という言葉ですね。原爆を経験したことがない私たちには恐ろしい物だと思った物でも、原爆を経験した人たちにとってはこんなに生やさしい物ではなかったと思われていて、とてもおどろきました。今回の授業で原爆のことを学び、すごく大切なことを知れて、良かったですね。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、原爆先生の特別授業を受けて改めて原爆のおそろしさについて知ることができました。

今までも、映画や本などで、原爆について、興味を持ち、どんなことが起きているのか？ということを知っていました。

ですが、1つの県の人口の約 $\frac{1}{3}$ もの人が亡くなっていることや、どういった兵器を使っていたのか？というかわいいことを知らなかったので、授業を受けていて、ゾッとすることや、心がドキ、チクリ、と痛むことも多くありました。

また、先生のお父さんのビデオを見た時私は、体験も原爆についても全.た.く.知.ら.な.か.っ.た.私.で.も.、原爆というおそろしさと苦しさをとても理解できたと思います。

今の世の中でも、かくミサイルなどの問題が取り上げられていますが、こんな被害があったことをもと知ってくれば、良いと思います。

こうした被害がまた起きないためにも、原爆について、良く知ることが大切だ”と感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、この原爆先生のことです。いろいろ学び
させてもらいました。広島の前火暴ドームでは、
こんなにひどいとは思いませんでした。
でも、このことです。いろいろ学ぶことができ、
「リトルボーイ」のいろいろは、こんなにあったと
始めて分かりました。他にも死者数が
14万人と言うことが分かり、あらためてこわい
ことが分かりました。人がいっしょにできえ
たりするのでもこわいし、ぼくた人も直径200m
高さ600mで表面が7000℃、中が100万ととい
うのに600m下も3000℃というあつさで本当に
こわいと思いました。たてものもなく、産業奨励カ
食宮も金失のほねぐみだけになるというあつさ
です。こわいと思いました。ぼくは、このこと
について原火暴先生の話しを聞いて次からは、こん
なことになってほしくなく、なってもいいように防
災をそなえておきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

日本は、核兵器の保有を3月
も受け止めます。

ただし、核兵器禁止条約には
入っていません。

または、禁止条約に入らないのはおか
しいと思われました。

もし、もし、核の保有を止め
てほしいと思われました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回の授業で改めて原爆のひさんさを知りました。私が授業の中でおとういたことは、実際に体験された先生のお父様が原爆資料館に60年経てからいき、皮ふがたたれた人々の人形を見て「きれいすぎる」とつぶやいたことです。写真を見て私は「え、こんなに！」と思いましたが言葉からもとひさんな状態だったことが分かりました。人間が人間を殺してどんないいことがあるのか私には考えられません。そう考えると原爆資料館から出て石に刻まれた名前を見た時に泣いたお父様の気持ちがよく分かりました。今でなお原爆病にむやまされている人がいることにもおどろきました。体験してこそ分かるものが必ずあったと思います。原爆トームが残されていることの大切さ、命の大切さを世界中の人に知ってほしいです。私も知ることができました。ありがとうございます。お父様が残してくれた言葉はとても大切です。多くの人がこの考え、気持ちを大切にしてほしいので感じたこと全て家族に伝えようと思います。本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆が「どんなにおそろしい物なのか」
今日聞いた事より、生々しく考えていました。ど
れだけ当時の様子が「どれくらい物であったのか」想像できませ
ん。3000℃の熱風によって焼かれてしまった人々、伝えたくても
伝えられないむなしさは、一生かけてもすべて分かることでは
ないと思いました。ですが、その口が「伝えられなかった復讐」を、少
しずつ分かっていきたいです。その思いは、いつまでも持っていま
いたい。そして後の世代にも伝えていきたい。その思いで、今、胸がしっ
ぽいです。私は原爆で亡くな、たともしかしたら知り合いになっ
たかもしれないし、将来知り合いになつた人を戦争で亡くしたくない
ので、二度と、戦争という方向に誤ってほしくないと思いました。また
自分とあまり年がらぬかわない、子ども達も亡くなってしまって
今、この平和な世の中に生まれたことを幸世に思い
感謝射していきたいと思ひます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

11/2

ぼくは原爆先生の話聞いて、原爆のおそろしさがわかりました。

そして一発の爆弾で多くの方がなくなるのはかわいそうだと思います。

原爆はとても悲惨なのに、新たに核兵器をつくったり、不謹慎なことをする人々は、原爆のおそろしさを理解して欲しいのかなと思います。

なので、原爆ドームのような負の遺産、や原爆先生のような原爆の体験やおそろしさを後世に伝えていくことはすごくいいと思います。これから原爆や戦争について知らない世代の人たちも増えてくるので、このような活動をもっと増やしていった方がいいと思います。

そして一人一人が原爆について理解すると平和になると思います。お話ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/2

ぼくはこの特別授業を受けて、被爆した人たちは、大変な思いをしたことを、改めて感じました。被爆した後も、原爆症で苦しんだり、家などがなくなったりしたことを、今日くわしく知りました。

1945年8月6日午前8時15分。1つの原子爆弾「リトルボーイ」が広島に投下されました。その1つの原子爆弾で24万人の広島市民が被爆、そして、14万人の広島市民が亡くなりました。原子爆弾1つと少しの時間で、のどかな広島市は燃け野原になりました。

今までは、原爆について、あまりくわしく知りませんでした。でも、この授業を受けて、原爆が、平和を、いっしょんでこわすという二度とあってはならないおそろしいものだと改めて気付きました。

原爆先生、平和の大切さ、原爆のおそろしさを教えてくださり、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回の授業を通して、原爆の恐しさを知りました。とても印象に残ったことは、原爆を投下した時の映像です。広島の人々は皆、いつものような生活をしていましたと思いますが、そこに急に中心温度100万℃にもおよぶものが真上から降りてきたら、と考えるととてもいへばた、てもいられなくなるどころか恐怖と不安に包まれたと思いました。

また、私はこんな悲さんな原爆が起こったのは戦争が起こってしまった争いになったことが原因なので許せないと思いました。

普段いつも通り生活していた人が、その普通の生活どころか一瞬間でせくなってしまう人がいる。そんなことが二度と起こらないような仕組みが今はつくられていますか、国民全員がそのことを意識しなければ、平和にはつながらないと思うので、私たち子供が二度とこのような戦争を起こさないために常に意識していきたいです。

私たちに戦争の恐しさを伝えるに来て授業をしてくださり、どうもありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆のおそろしさを改めて
感じました。

原爆は沢山の人の命をうばい
ます。なのでこのようなことは二度
起らないでほしいと思いました。

人が死んでしまうと沢山の人が
悲しみます。このようなことをして
いるアメリカも最低ですが、
なにかの原因を作った日本も悪い
です。自分の国の人々を自分達で殺す
というのはとても悲しいことです。

今の日本はとても平和で安心
できる国です。昔も今のようなとても
とても平和な国だったらなと今も
ずーっと思っ、ています。

今回 90分におたり原爆のおそろ
しさについて語、てくれて本当に
ありがとうございました。

いろいろと勉強になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して、戦争をやってはいけなくて強く思いました。二度と悲惨なことが起きないように、したいです。

原爆ドームに一回行ったことがありますが、見ているものすごくおそろしから、たしにおかったですが、だから、よく知る必要があり、世界が平和になることにかなり強く希望を付き、原爆によって尊い命が一つでも失われることがないように、ぼくは今、自分でできることを考え、それが世界中の平和につながるようなことを考えてみたいのです。

機会があったら長山崎にも行き、平和について深く考えてみたいと思っ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ほくは今日の特別授業を受けていろいろなことを
を思いました。11日はこわさです。原爆の話しを
聞いていつもの日常が急に火の海にな。てしま
うことがとれだけつらく、とれだけ悲しいことがよく
分かりました。中には思い出をなくして悲しんでいる人、
家族がせくな。て悲しい人、友達や家などがせくな。
たり、消えてしま。てつらい人もいると思。いました。そ
して池田さんはその中で救助かをしていたので、す
ごいと思。たし、周りの人がせくな。ていてつらいと
思。うけどすごいと思。います。自分のことではなく、周り
の人のためにイヤだと思。てもけ。して逃げずに、救
助かしていたのですごいと思。いました。他にも自分の
知り合いの人や、軍の仲間のことでも頭がいっぱ
いでも危険な所に自分から行き、救助かしてすご
いと思。いました。そして最後に言。っていた話でもいろいろ
なことを思。いました。最後にも泣。いていたけど、そ
れを原爆の時はその気持ちをおさ。えてや。っていてす
ごくつら。かたと思。います。こ。からの原爆の学習でも
今日のことをい。かしてや。っていき。たりと思。いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

話をきいて、原子爆弾というのは、とてもおそろしいものだなと思いました。文字や文章で、原子爆弾のおそろしさを伝えても、実際に体験した方は、心がとても痛かったと思います。言葉にすることができないくらいおそろしく、悲劇だったんだと思います。ビデオを見た時に、息をのんでしまいました。こんなに広いはん囲に被害があると、もとの生活がもどるのに、たくさん苦勞と時間で、いっばいだったと思います。現在は、物が発展したり、色々なことが進化をとげています。そして、私たちは毎日充実した日々、または平和な日々を過ごしています。今、平和でいられることを心から感謝するべきです。

お忙しい中、私たちのために、時間をくださり本当にありがとうございました。私も、平和をこれから守っていくために、がんばっていきなたいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは改めて原爆の恐ろしさがかかりました。なぜなら、太陽の表面温度よりも熱い爆弾が広島の人々をあとかたもなく消し去ったからです。一番おどろいたのは、原爆のいかに水が交かかなかった事です。水なら火にもたえる事ができるから熱風にもたえられないのではないかと思いましたが、そのいかは水を蒸発させてしまう事がかりました。次におどろいたのは、爆発した真下についていた人達は1人も生きていなかった事です。600mという少し長い距離ではないかと思いましたが、それでもそのいかは人の水分を蒸発させ炭素にし、しょうげき波で形をなくしてしまった事がとても怖く思いました。まさかよく晴れた空にいけり広島全てを焼くような原爆がくるなど自分で考えたことがないほど恐ろしいです。もう二度とこんな事が世界でおこってほくないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の特別授業の中で、一番おどろいたことは広島市での原爆による死亡率が40%もあり、その内2万人は110歳まで亡くなってしまったことです。14万人もの人が亡くなることや110歳にして亡くなってしまう人がいるのは想像できません。また、先生のお父さんの日記はまるで物語のようで、実際に起こったこととは思えませんでした。でも、たくさんの苦学の中で広島の復興のために尽くしている人々の様子は原爆先生の読み方や、実際に体で表現もしてくださったおかげでとてもよく伝わってきました。そして、原子爆弾投下都市の条件や原爆の投下のされ方、原爆雲のしくみなど、知識についても分かりやすく、ていねいに教えていただいたので、原爆について、今まで私がもっていたおそろしさの何倍もおそろしいことがわかりました。原爆先生や先生のお父さんをはじめとする体験者の方々と比べたら、私の感情はなまやさしいものだと思います。しかし、今日の授業で、今まで私が思っていたの何倍も被爆者の方や支援を手伝った方が苦労していたということがわかったので、授業をうけてよかったです。これからも今日、話を聞いて思ったことをずっと忘れずにしていきます。原爆先生、今日はどうもありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回の授業を受けて改めて原爆の怖さを知りました。今までにも資料や写真は何回か見た事がありました。今日はさらにくわしい事が聞けて良かったです。実際に被爆をした人の話はいつもの戦争の話より悲しく感じました。その中でも私が一番びっくりしたのは死亡率の高さです。5人に2人が死んでしまうほど原爆はおそろしい事だと思いました。またビデオを見た時、実際に原爆が落とされて強い光と一緒にその場にいた人が消えていくのを見て、この事がもし自分の目の前で起きたらき。と言葉も出ないと思います。今日の授業を受けて私は平和な世の中がずっと続いてほしいと思いました。このような事が今後起こらないように私達は原爆の怖さを次の世代の人達に伝えなければならぬと思います。そして原爆ドームをずっと大セオにしていきたいと感じました。そして被爆をした人の思いを忘れずに、人を大セオにしてこれからは生活していきたいです。今日の授業はとても貴重な体験だったと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業をして下さりありがとうございます。

原爆ドームで亡くなられた人々の気持ちがよく伝わってきました。私はあまり「原爆ドーム」について、

よく知らなかったのですが、今日のお話を聞いて大変だったんだなと思いました。爆発の景^観で、

数多くの人が亡くなられてしまいました。亡くなられた人

が奇^きせきたなと思いました。

原爆ドームが、爆発すると想像するだけでも、おそろしいです。

今日の授業を通して、人なによりいこじかあるのに、あきらめずに習^かかしていたのか、とてもすごいと思いました。私だったら、あきらめずに家族と再会したいです。

現代、そして未来に、このようなこじかあらないようにしてほしいなと思いました。話をきいて、よく分かったのだよかったです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の話聞いて私は、初めてしたことかた
くさんありました。

私は戦争を体験したことはないけれどこんなに死ん
でしまった人も多くとてもたいへんだと思いました。

たくさん話の中で特に心に残ったのは死亡率が
40%をこえていることです。一回のは"くげ"きだけで
何万人も死んでしまっ、しかも-しゅんなのがおどろいた
し、悲しいと思いました。トラックで移動している時も
ひら"か"焼け"こ"は"か"れて"いる"人が多くそれだけ被害が
大きかったと思いました。特に9日間もそういうことが
続いて生きのびられたのが"すこ"いと思いました。

原は"く"ドームは、特に"は"く"げ"きの被害が大きかっ
たのに今もそのままの"い"よう"たい"で"い"られるのが"す
こ"いと思いました。

今はあまり戦争がない時代でくろうして"い"ないけ
れど昔の人はそうとうくろうして生活して"いた"こ
と"か"あらためて分かりました。

そしてこのことを忘れないようにしていきたいで
す。他のことも知りたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/2

私は今まで原爆について深く考えたことはありませんでした。ですが今回の授業で原爆のおそろしさを知りました。お話や映像から原爆のおそろしさを知るとともに、もう絶対あつてはならないことなのだという事も知りました。

こんなにおそろしいことが目の前で起こったのにけがをした女の人を助けたりできるのは本当に強い人なのだと感じました。私は実際に被爆した訳ではないので原爆の本当のおそろしさは分からないけれど、今回実際に被爆した方のお話や映像を見たり聞いたりして感じた気持ちは日本人として忘れるはずはない気持ちなのだと思います。私はこのような核兵器による被害をなくすために直接関われることはないかもしれないけれど、今回の経験を忘れないということや次の世代に原爆のおそろしさを伝えることはできると思うので、ぜひいきたいです。今回は原爆先生の授業をしていただき、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆の怖さを知りました。昔は、今とちがって戦争が
あって、<sup>8月6日の
朝に</sup>アメリカから原子爆弾を落とされた日のことは、
一生忘れられないと思いました。この原爆投下によ
って、たくさんの方の命がなくなってしまって
悲しいです。7000と～100万ともある原子爆弾は
生きていた人たちを無残な姿にしてしまっ
た。本当に、怖いんだなと感じました。生きていら
れた人たちも、放射線を浴びて、「原爆症」にかか
ってしまい、かわいそうだと思いました。焼け死んでいる
人や、皮が全身とれてしまっただ人の遺体の焼却を
任されていた^{池田さんの}父、義三さんも、とても苦しい思いを
して、大変だったのだと思いました。助けて
あげた人から、恩返しの手紙を聞いた時、生きるか
死ぬかの境目にいた人を生きる道に招いた
義三さんは、本当にすごい人なのだと思
いました。今日は、原爆についての怖さだけで
なく、知っておいた方が良く、これから先に
役立ちことなどを、学べる日になりました。この
話を絶対に忘れないようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/2

今日、原爆先生の特別授業を受講して改めて原爆はおそろしいものなんだと思いました。

太陽以上の温度のもので地上600mに降って来て、熱線・衝撃波・放射線の3つの影響で死者を約14万とも出る「リトルボーイ」は本当に怖くおそろしいものだと感じました。特に原爆が投下され、人の体内の水が蒸発し、人が炭化し、それが衝撃波によって粉々になり、人がいっしょんで消えたように見えたということにすこぶおどろき、怖く思いました。

しかし、京都や東京などの大都市にこの原子爆弾「リトルボーイ」が投下されなくて良かったと思いました。原爆投下都市の条件から外れているところもありますが投下されていたら悲惨なことになっていたと思います。そして、原爆ドームが負の遺産として受け継がれてほしいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は、授業をしていただき、ありがとうございました。これまでの授業で知っていたこともありましたが、くわしく知れていながら、たので、よかったです。

爆弾が投下されて、被爆した人のひさとなすがたなど、見たくもないのに、見ることになった、もしくは、見られる側になった人はとても、かわいそうだと思います。

死亡率40%という、

きいたことのないような言葉と数字を見て、自分がその時生きていたくてよかったと感じてしまいました。被爆して、死んでしまった人がとても多いことは私もなみたを流しました。

このようにできごとが起きないことを望んでいます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原子爆弾の授業を聞き、
最初に、原爆のことが印象に残り
ました。実際に被爆して、爆心地で
近くににいる人たちは、皮膚が剥がれて
骨や肉が見えた、というところで、想像
もできないような痛みがあり、それでな
んとか生きのびようとして歩きまわ
っている、ということも想像すると、とても怖
くなりました。言葉にもできないほど
だと知り、原爆戦争のこともあらた
めて実感しました。さらに、単純計算し
て死亡率が約40%だと、広島市の方の大きな被害
はるかに被害が木きりので、ぶつて、想像
しきれないほどの人が死んでしまったのだとわかり
ました。ぼくは、今回のように原爆の本質
のこともくわしく聞いたのははじめてだ
たので、過去にこのようなことがあったのだ
と頭に入れ、これから生活にいかしたい
と思いました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業では、こわい戸所もあ
ったが、わかりやすいところもあ
って勉強になりました。特に興
味をもったところは、しょうげき波
のことです。ぼくはあまりしょうげき
波がどんなものかわからなかった
のですが、お話しの中で、どれくら
い原子爆だんのしょうげき波
が強いのか感じることでしま
した。原子爆だんがどのくらい
こわいのかも感じました。地上が
3000℃まで達することなんて、想
像がききませんでした。夏の気温
の約30℃くらいのときの百倍とい
うのもかたんに想像がききませ
ん。

これからは、戦争がなくなっ
て、争いがない世の中
になればいいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ほくは、原爆先生の話を聞いて、
原爆の怖さを知ることができました。
その中でもリトルボーイという原爆
で、被爆者数、24万人 死者数 14万人
もの被害が出て、とてもおそろしい
ということが分かりました。

また、御幸橋の焼け跡の中で17.8
さいくらいの子供の人がふくらはぎ
を痛めていて、その中へうじ虫が

いたということを書いておそろしいと思いまし
たくさんの方が体を痛めていて、
たくさんの方が亡くなったので、
もう二度と、こういうことがない
ようにしてほしいと思いまし
た。原爆の怖さを知ることができて
よかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ほくは今日あらためて原爆のこゝろを
ました。

授業をうける前は原爆のこゝろはよくは何も
も聞いたから、いや、と思っ
先生の授業で、ほくの予想していたものより
先さんでくださりおかしな

ほくは原爆先生のお父さんが、被爆者の
人形をみて

きれいすぎる

と言ったことが、昔をおもいかたしていることが
残っています。ほくはあか先生が人形を
とがつかいのにもとさんでた人形も何人も見て
きていると、ほくだたら一生おそれるな

原爆といふのはもう二度とほくは
思います。またよく人形を
けれど横にたててあるか
多くの人が

『原爆のこゝろ』

を矢口も二度とまじりにたいして



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業で、自分が知っていたことはほんの少しで、その原爆はしてもおそろしい、もう絶対に使ってはいけないものだと分かりました。このように人々の町や人々の心もおそろしい危険な物。もう原爆をどこにも作らせないことが必要なのだと分かりました。その被害はおそろしい、伝えなければいけないこと、それがもう原爆をつくらせず、そしてまたおそろしいことにつながることを思いました。そして私たちも、原爆の被害をもっとよく知ることが必要になっていくのだと思いました。このようなしても大きな被害は、別の国や土地或は生人ではたまたまなものだと分かりました。私に大切だと思、そのは、自分が今日の内容をし、かり覚え、今後どうすれば良いのかを考える必要があると思、たので今回の授業の内容は、自分の中で大切にしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今日90分間も話を聞いたのに、とても短く感じました。それは、とてもひきこまれていたからです。そして、今回授業を受けて改めて戦争はしてはいけないものだと感じました。死体を背中にのせて、歩いてゐることやけがをしてゐる時の話を聞いて、とても悲しく思えました。もちろん私は、体験したことがないので、どんな感じかは想像が出来ませんが、なぜか、話されたことが頭に浮かび上がって来ます。戦争は、小さなケンカや争いからはじまる物だと私は、思います。平和であること、食べ物を食べる、友達と遊ぶ勉強ができること全て私にとっては、いたってふつうの事ですが、世の中で今、戦争をしてゐる国があると思うと、今がとて幸せだということを感じます。今しか、生かれないのでこの大切な時間をしっかりと生きてゐたいです。そして、もしくはけがしてゐる人や助けを求めている人がいたら、助けてあげたいです。今日は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

授業中、授業後共に一番最初に、強く感じたのはやはり、原爆のおそろしさでした。もちろん原爆がとても怖いものだということは知っていました。しかし、具体的にどのようなことが起こるのかは初めて聞き、被害の大きさに驚きました。被爆した方の姿、原爆しょうの怖さ、5人に2人が亡くなったという事実。もしも自分たちが原爆を受けたら、周りの人たちがたくさん亡くなってしまふということは、想像もできません。広島の方々の気持ちを考えるだけで、胸が痛みます。また、池田義三さんをはじめとする兵士の方々はすごいと感じました。また危険である爆心地に向かい、被爆者を助ける勇気は、私にはありません。軍からの命令でも逃げ出してしまうとおそろしい姿に変わった被爆者のことなど、きっと無視してしまいます。戦時中の方々はみんな、とても心が強かったです。今の日本に、原爆が落ちこくことはまずありません。兵士にさせられることもなく、私たちは平和な生活をしています。このことがとても大切なことと、今日、はっきりと分かりました。授業をしていただき、ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業で命の大切さを知りました。今回、被災者の中には
お祝いをしていたり、めでたい事をしていた方もいらっしゃると思われ、それは
海を自由をたった一つの原子爆弾に何十万人もの命をうばれて
まうという事は非常に悲しい事だと思いました。また、被爆傷をお
た方は、なみだし出す必しに努力をいたして海事が目にかか
まは被災者は、あの大規模な戦争を乗り越えたという事
が非常にすごいと思いました。

「今後戦争とていつになくは、平和の世界に帰ってほしいのか。」
そんな事を被災者の中には考えている方もいらっしゃると思われ
こした事を今回学ぶ自分。

「今後の事を皆信じて皆協力して平和な国づくりをしたい。」
-そう思われ、あの3分間の映像の中に、これあの2冊の
本の中には平和の世界をまず第一歩の事だと思われ
今後、もしこの様な事が起るとしたら、広島がけいばで、通常
たくなされた方がいふと思われ。

そんな事をやる前に、

皆で平和な国をつくる。

そのように考えていけたらいいと思います。

ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、少しだけ知っていた。原爆
についてくわしく知れてよかったです。
その中でも熱線の温度が3000℃、
中心温度が1万℃というのを聞いて、
すごくというかものすごく高いのは
分かるけど、さすがに想像が
できません。また、キノコ型の雲の
でき方が分かって良かったです。けれど
も影だけが残っている写真を見
て、どういう原理でこうなっ
ているのかが知りたかったです。

今回のお話を聞いて原爆の
おそろしさが分かりました。この
ことを胸に後世につたえ、ただの
記憶にしないようにしてい
たいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、授業を受けて、一番印象に残っていることは、たった一発の爆弾で35万人中14万人が死んでしまったということと、たった一発の爆弾で14万人もの人々がなくなっただけということに、本当に悔しい、次はぜったいにおこってはならないことだと思いました。人々を苦しめたのは、その後の「痛み」ということが分かりました。助かった人もその後の痛みを苦しめられていたことが分かりました。軍の人も救助をがとばっていて、「人でも命を助けてあげたい」という思いをすごく強く持っていることが分かりました。

ぼくは授業を受けて本当に良かったです。原爆は関係のない人の命を取ることになります。だから、今後ぜったいにおこしてはいけないということが分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆を体験したことが無く、どういふ事が起きるのかなど、分からない、事がたくさんありました。しかし今回、原爆先生の話を聞き、たくさん事を学びました。命の大切さ、原爆のおそろしさ、救うことができなかった苦しみ。こういう中でも、特に心に残った事を書きます。池田義三さんがお女さいで陸軍となり、多くの原爆の被害を受けた人々に会い、とてもいやな思いをしていたと思います。しかし、一生けん命亡くならして、人々を運んだりする命令を受けてやっていた、とてもすごいと思いました。九日、少年に兵隊を助けてとお願いされ、お女さいのお女市さんを、少年のために、お女さいのために助けて、少年は亡くならしてしまっただけ、一つの「命」を助けた事は本当に、素晴らしいと思いました。きっと、手を差し伸べても、助けられなかった人は、悲しいよりも、一生けん命助けようとした池田さんに、感謝していると思います。先生、これからも、多くの人々に原爆のこわさなどを教えて下さい。私は、この話を聞き、戦争などがなくなると良いと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回 学んだ事は1部だと思っけし
2時間て1部いつては全て分かる
にはたぐさんの時間が必要という事
なので本当に大変だったんだていう事が
分かりました。

空中で200mの球体になり表面7000℃
中か100万℃ 600m下でも3000℃もあるなん
てすこいと思っました。太陽よりも 1000℃
熱い物が600m上にいたらものすこく小布い
と思っます。一番おどろいたのは上空の
時真空になって逆流して上昇気流がきて
雲になり上に行って上かりきめないところ
までいって上か平になっているところ
四国の上の写真と説明を受けた
時です。

最後の さいけんの流れて家が
4こくらい1秒でこおれていくくらいの
風で体験してないけ木の原はくは小布・物
たていこうことを矢叫ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

わたしは原爆についてあまり知らなかったけど、原爆先生の特別授業で、原爆はどんなものだったか、そしてその原爆の被害について知ることができました。

わたしが一番おどろいたところは、やはり原爆の被害についてです。その場にいた人がどんなに苦しかったか、よくきいて知ることができたけど、自分が思っているよりも絶対、こわくて苦しくて、助けをほしかつたのが、強く思っていたのだと。

思います。死亡率が40%、5人に2人が亡くなったそうです。

このことを聞いたとき、とてもおどろいたしこわかったし。

1つの出来事でこんなに人が亡くなってしまふなんて、自分が思っていたよりも、原爆とはすごいものだと思いました。

わたしは今日のこの原爆先生の特別授業で、原爆がとてつこいものだを知り、そして今の日本はとてつこい平和だということがわかりました。原爆で亡くなった人の中には、わたしたちと同じくらいの年、またはわたしたちより小さな子がたくさんいると思います。だからわたしは平和な生活を送って、楽しく過ごせることが、今ではあたりまえだけど、昔はなかった、同じくらいの年の子どもも亡くなった、ということをおぼえずに、亡くなった人の分も楽しく、悪いことなどはせず、良い生活を送れるようにしたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の授業を受講して原爆のおそろしさが改めて分かりました。2011年3月11日の原発事故でも思えば、人がコントロールできないものは、どんな時でも使えばいいかと思いません。特に原爆の場合は、実際14万人の死者を出しているから、こんなに大きな被害を出すつもりなんてなかったと後で言ってももうおそいと思いました。

原爆を落とした飛行機の名前は、大佐のお母さんの名前だったから、お母さんの名前を歴史に残したいと思っていたんだと思うけれど、このような形に名を残されることも、大佐のお母さんだけでなく、みんなも望んでいなかったと思います。国同士の問題とはいえ、戦争以外にも解決方法はあったと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

日本に原爆が投下される時の侯は約
 とし2.0直徑5kmを越える(1)中野(2)ある(3)
 空しゅうが今までの被災場所(2)か(3)という
 条件(1)原爆(2)広島(3)小倉(4)長崎
 でした。そして、原爆4よ、100万7000人
 になっています。これによ、2年間の35万人中2万
 人が34歳に死んでしま、14万人はけ
 けき波、又は、焼死したというこ
 があかしました。そして、この戦争で、戦争
 は必ずや、2はいいないことだ、というこ、
 原爆を二事と行わな、い、い、二と
 などの、大切なことを改め、実感
 する二とが、二、またの二、よ、か、た
 二、あ、



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆が広島に落とされる前のことや落とされる
うほとなった所かどこかが、候補となった理由や、
一番推されていた場所がだめになった理由を知
れて良かったです。原爆の名前や長さ
などを聞いて原爆のおそろしさを改めて感
じることが出来たので次の戦争はとめてほしい
と思いました。原爆先生の父義三さんは、トラック
に乗って大やけどをおこしている人を助けたいとい
うたけれども手の皮がむけて思つように出来ない
義三さんの悲しさやくやしいという強い思いが
よく伝わってきました。原爆雲というのの
出来方を聞いていると、広島市の空気が原爆
によ、とてもあくなっていたことを考えるとおそ
ろしいなあということ、勉強になるということが
ありました。映像で見た周りの様子、何もなくなっ
てしまったこと、死亡率、原爆を受けたことによ、でた、
病気、原爆ドームの様子を見るととてもおそろしかったこ
とを知ったので、次の戦争は必ずくいとめて
ほしいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/2

私は、今日原爆先生の話を聞いて、原爆にあつた人の苦痛や戦争はけしてあってはならない、といふことが改めて感じました。

とくに、池田義三さんがバス、車にのっているとき道ぎたに黒いからちった人闘争、人がたあけていた、とゆうお話を原爆にあつた人の苦しみが増えました。また、この原爆で亡くなってしまった人が14万人いたという事実にもおどろき戦争はけしてあってはいけないことが分かりました。

私はもし東京に落つたらどうなってしまうのだろうと思つたから聞いていました。また、池田義三さんはえらいと思つた。というのは、道が死体だらけでいっぱいの中、おぼろけたら見苦しいなかも進んでいっていたからです。

今日は、赤松小学校に来てくださってありがとうございました。これから今日のちしきを生かして、原爆に45年といつて次の世代にも伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が戦争そして原爆のことで知っていることといえは、
たくさんの被害がおよんだ、原爆ドームが残ったということだ
けでした。せくなつた方、そして現在も原爆症に苦しんでいる人
一生残る傷を負った方達が戦争の被害者だと思つていまし
た。しかし、今回のお話を聞き、被害にもいろいろあり、想像以
上にあつたこと、そして戦争の被害者は、ケガを負つた方だけで
はなく、ケガの処置を行った上等兵のみなさんも、救護を行う際
に心の傷を負つた被害者であることが分かりました。私が心に
残つたことは、人のせくなり方です。水に飛び込んでせくなる理由は
は知つていましたが、放射線ではなぜせくなるかは知りません
でした。人が消えるとはどういうことだろうという疑問があつた
ました。しかし、今日のお話を聞き、最初に聞いた時は、「そういうことか」と
納得することかできました。しかし、考えてみると、一瞬の間にこれほど
のことが起きるほど、放射熱が強く、衝撃波も強かつたことを
物語つていることに気がつき、それとしました。私がおどろいた
ことは、原子爆弾投下都市の条件のことをはじめとし、母の
名前を原子爆弾につけたこと、リトルボーイは4メートルもあつたこ
となどおどろくことがたくさんありました。貴重なお話を
たくさんしていただき、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

今回受講した「原爆先生の特別授業」を受けて
ぼくは原爆ドームがなぜ「負の遺産」とされた
のかがわかりました。

原爆先生の授業を受ける前まではあまり
日常的に原爆について考えることが
なく原爆についての恐怖、についてあら
ためて実感しました。

この授業で「原爆によって起こった出来事
で「おどろいたことか」がありました。
その中で特に「おどろいたのは会社か、家
のまわりのかいだんにすわっていた人が「原爆
のいかに破かいかによってその場から
姿を消してしまったこと」です。

なぜ「おどろいたか」というと原爆のいかに
よこあせについて今回学びましたからで
す。

いまは世の中平和なのでこの平和な世の中
が続いてほしいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は今まで、戦争はいけなものでも、お
 いなものだと、自分で理解していたつもりでした
 が、ちがいました。戦争は、僕の思っていた以上に、
 すごく、おそろしい物でした。今日の原爆先生
 による特別授業を受講させていただき、原爆のこ
 ろさを思い知りました。今回聞いた話は、何十万
 ものひがいの内のたった一部をくおしくただけ
 で、こんなひどいひがひが、ものすごくたくさん
 あったんだと思うと、本当にひどい奴と思い
 ました。それを考えると、こんなに平和な日
 本に生まれてきたのは、すごく運が良い
 だなと、改めてこの生活のありがたさ
 を思い知りました。でも、外国だと、今で
 も戦争などで苦しんでいる人がいるんだ
 と考えてみると、本当に早く世界平和が
 実現してほしいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/2

今日、この授業を受けて、戦争は起こった時だけ
怖いものではないのだと思いました。戦争はダメ
だ、そう、いつも言われ、いつも思っています。それは、
戦争時たくさんの命がうばわれるためのというのが今
までの理由ですが、今日新たにもう1つの理由ができました。
それは、戦争後の生活にえいきょうするからという
ことです。原爆先生のお話にあつたおうちに、先生のお
父さんは原爆後遺病で長年(25年くらい)苦しんだ
とあつしゃ、ていました。その他の大勢の人でもあります。その後
遺病によつてせくなる人もいます。このことから、戦争が
あつたことによつて原爆がおとされ長年苦しむことにな
つてしまつたのです。やはり戦争は怖いものであり、
むごいものです。仮にもしいなつた人たちの命がうば
われ、苦しめられるのです。これから戦争はダメとい
うことを頭に入れこの先も平和に努めていきたいと
思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/2

今日の授業で、戦争があってもいけない理由を、
ふかくしりました。それでは、なぜ戦争がいけ
ないのかは、戦争をやりたくない、と考えている人まで、戦争
に行かされ、命を失ってしまう人がいるからです。

今日の話を聞き、「人が人下ない道になっていく、てか
た」というのは、強くだを打たれました。なにもはく
は、二度と人がこのようにならなければいけないと思
いました。原爆先生は、父さんの本当にあった話を、い
うだけでもつうかたと思うのに、ぼくたちに、この
つうさをしてもううために、苦しみをこらえなが
ら話してくれて、とてもすこいことだなと思いま
した。前にも原爆ドームに行ったときに、その
形なと思うと、苦しみがあまり伝わらなかつた
けど、その前の景色を見てから見ると、本当
にこらいというのが、すこく身にしみで、す
こくつらい気持ちになりました。今日、
はなしてくれた内容を、一人でも多くの人に
伝えてもらいたいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅきょう

表

今日の2,3時間目に原爆先生のじゅきょうを受講してみたら、原爆が落とされたせいでこんなにひどい被害が出ていたんだなあ...と思いました。

今回のじゅきょうでおどろいたのは、広島での死者数の多さです。広島市の人口は35万人で、そのうち14万人も死んだそうです。ということは5人に1人が死んでしまったということだから、今の東京に落とされて5人に1人死んだとしたらすごいことになるな...と思いました。また、うでから皮がはかれるなどのホラー映画のようなグロテスクなことが実際にあったことにびっくりしました。

この原爆が落とされたせいで病に苦しむ人がまだいるのがすごく悲しいです。外国だから争いやけがをさせることはたがめたと分かっているはずなのに、このようなことをなせ"したのかという気持ちになりました。今後このようなことが二度とおこらないでほしいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 2

今日の学習を通して僕は恐怖を味わいました。実は祖父も原爆を経験していました。あんまり教えてもらうていないんですけど原爆を改めて知りました。そこで今回受講して疑問がうかびあがりました。それは広島にしたかということです。他にも新潟も越後平野におとせばよからたんじがないかと思いました。もう一つは原子爆弾を落としたりという事です。しょう夷弾を落とせば無差別爆撃が小さくおさまるかと思いました。今回の受講を通して今は普通に暮らせているけど昔は食料も食べれないという環境だったのでとても信じられないと思いました。また、こういうことのないように原爆を作らないと決心して人生を楽しく歩んで行きたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

戦争に文ずる(原爆に文ずる)きょうふというのが強また気がします。昔こういう事があつたということだけで、何もわかつていながら、ぶぶんを見せてもらえた事が貴重な体験になつたと思います。しかし、うけとめきれない部分や理解できないような部分も、時々あり、こういふ話がつうけとめきれない自分がいるのも、今回の授業で分かりました。

今、原爆も戦争が無いこの日本にまた、あつたやうな事が起つたら...と思つくとゾクツとします。

だからこそ、今のぼつたいが樂売してほしいと、この話を聞いて強く思つました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/2

今日の特別授業を受講して
平和の大切さがありました。

平和とはなにか、それは争いがなく
みんなが笑顔でいることです。

原爆は広島と長崎の人の笑顔をう
ばいました。戦争は罪のない人
の命を次々にうばっていきました。

戦争をしていい気持ちになる人なん
で世の中に一人もいないと思います。もしいた
としてもその人はまちがっていません。
なのでぼくは今の日本が、これからの
日本がずっと平和であることを
ねがっています。日本だけじゃな
くても世界中のみんなが毎日笑顔
でくらせるといいと思います。
ちがう国の人でもみんなと仲良く
していきたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受講して、原爆で多くの人々が死んだこと
が分りました。広島の人口約35万人に対して、被爆者約24万人、死
者数14万人、死亡率40%とは、半分の人が死んでしま
うという状況に多くは、戦争はしてはいいけれども、
めつおもしろい、また、原爆の威力が中心部は1003℃、外側部
分でも7000℃下にはいた人は3000℃という高温で太陽でも
6000℃という太陽よりも高いので、そんな高い温度を浴びたら
どなたも生きてはいるか今の頃にはもう分からず、みんな原
爆先生の話を聞いて、手をさしのべて上げておいてくれ
たあんな感じが向けてしまうというのを聞いて、とても痛々しい
と思えた。また、放射線を浴びて、今もまた、原爆病とい
う病気になる人がいるから、数10年後、70代のおじ
さん、原爆がおきて、それから、と戻してつづいて
いって、おもしろいと思います。
今も原爆を待っている国が少しいるので、みんな、みんな
原爆を待たないよ、平和な世界がつかえるといいです。
は、この先、人がくるといふことが、さういふことは減らさ
うのでなく、さういふことだと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、「7000℃の少年」を聞いて、びっくりしました。とても熱いので、どう
いうことかと思いました。話を聞き終ると、考えたら、少年が
「リトルボーイ」で7000℃がしょう面温度と言ったことだと分
かりました。7000℃は、太陽のしょう面温度6000℃より、1000℃
もたかく、ものすごく熱いとも感じないくらいだと思いました
た。この熱さでは、遠くにいても、全身やけどなげもよく
あると思っ、とてもこわく、痛いと思いました。また、中（
中心）は、100万℃で、直径200m、600mもはなれてい
るのに、3000℃下にいた人が1しゅんでいなくなるの
は、な、とくですが、現実だと思っ、な、とくがどうしても
出来ませんでした。また、太陽より熱いものは、どうぞう
できないし、ひふがとける、とれるもできないのでこわ
いのです。でも、聞いた話なので、も、とモッて熱して
こわいと思っ、うので、せうたいに、半そうはいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日の原火暴先生の授業を受け、ぼくは前から原火暴はとてもおそろしくすさまじいものであって戦争もしてはいけないうとそれなりにマンガなどで知っていたけれど、ここまではひどいものだとは知らず、そしておそろしいや、すさまじいという言葉です。おような、ざんこくなものではなかったのだとわかりました。

ぼくは原子火暴弾はアメリカはいかに被害を大きくするかしか考えていないと思っていたけど、最初学者などが推せんした京都は、アメリカ政府が日本の重宝文化財は守る必要があるという考えをとったことにとってもおどろきました。

ぼくは原子火暴だんは世界で最もざんこくな凶器であり二度とこの世で使ってはいけないうものと改めて感じました。

短い時間でしたが、どうもありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

いろいろな被害者の映像をみても二度とあ
てはつけたいと思いました。

そもそも戦争は国と国との戦いである。市民はた
た戦争をしてる国にいるだけであつた。なにも悪
いことをしたわけでもないのに原爆などの被害に
あつた。しかも目を覚ましてあげてあげようとい
うとしてもあきらめてしまう。それは無責任だと思
います。原爆先生のお父さんのお話を聞いてほかに
戦争をした時代に生まれたい。こんなことができるのか、と少
しかんかえってみました。原爆先生のお父さんの
した事を同じようにすることはあつてはあつたか
しと思えました。

今回の学習を初めてしたことには原爆ドームの元の姿を
あなたにキレた建物がある。あのような姿になつてしまつた。戦争の
意味のなさを改めて考えたいと思つた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/2

ぼくは今日の90分で初めて広島原爆についてくわしく知りました。ぼくはまず原爆の温度におどろきました。ぼくはいくら熱くても300℃を超える事は無いと思っていました。しかし実際には中心温度が7000℃もある事を知り、とてもおどろきました。

また、先生が「頭の上に太陽ができた感じ」と例えた事で、より原爆の危険性にこわくなりました。

次にぼくは、被災した方々の無残な姿におどろきました。被爆した人は焼けこけてしまうという事はテレビで見た事があり、それだけでぼくはこわいぐらい驚きましたが、それ以外にも体験談からぼくが想像していた以上の無残さにこんな事が日本であつたなんて信じられなくなりました。

ぼくはこの授業を受けて戦争はいけない、やめてはいけないという事を小さなころから聞かされていて、戦争を行なう人々の悪しさを感じ続けていました。しかし今日、戦争で被害を受けた人の「残念さ」、「無残さ」にも見を向けるという事がとても大事な事だと思いました。これからはどんなに悪質な事件でも記憶に残すため、被害者の感情も随分



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/2

今回の原爆先生の特別授業を受講して、戦争は本当におきてはいないと思いました。

原爆先生の話の中で人間はこんな姿になるんだと思いました。

身見の悪い姿は、昔人成などの想像

でしか見られなないと思っていました。

今の姿は現実で見られたというのにびっくり

しました。こんな姿になりたくないし見たくもない

ので、戦争は本当におきてはいないと思

感しました。

また、命をもらって命をかがえて必死に生きて

きたのに、一つの爆弾で長い年月を削

ぎてきた命が、いっしょに本当に短い時間

になってしまうのは本当に悲しいことなので、戦争

は本当におきてはいない、おきてはいない

ものだと感じました。

戦争にみならず、平和に、笑って生きられる世の中に、

感謝し、そして、この世の中を未来までつなげ

ていき、命の大切さを実感しながら生きて

いきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私がこの特別授業を知らず、はやり戦争はとてしやうは
はけななりことだと思ひました。ただ何もしてないことを
せくしてしまつたり、けがをさせるのはんとしてやうはけな
り行動だと思ひます。この特別授業をやつて、あつた
めて戦争のおそろしさを知ることができました。そ
して、新しいことが分かりました。それは、今も本の端所
に住めななり人や、病氣をかかえてゐることです。私は行く
にも行、てないし、昔のことなのであまりよく知らな
かたです。みんながもう知つていたので、もうし分けない
氣持で、はこいになりました。その時の証言を聞
いた時ではとてもおそろしき苦しくなりました。最初の
証言の結了んがすみになりバラバラになつたと聞
きました。人がバラバラになるなんてもう想像したく
ありませんでした。2つ目の証言でもすみになつたと
聞きました。この2つの結了んを聞いてとて苦しくな
りました。はやり戦争は良くなななりと思ひました。この特別
授業を受けて、戦争はやはり良くなななりし、こんなことがこ
れからないやうな平和がきてほしいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/2

私は、たくさんのビデオや話を聞いて 戦争の本当のおそろしさを感じました。入が35万人いたのに、14万人もせくなってしまいました。24万人が被爆者ということを知って、生きていくことがどれだけ幸せなのかあらためて分かりました。亡くなった人は、自分の人生がもうないのでどれだけ最後まで生きてかたかていうことを思いました。そして義三さんは、始まりから終わりまで色々な苦しい思い出があり、終わったあとも原爆症に悩まされたと思いました。そのことを思うと命は大切だし、日々を大切に生きていこうと思いました。私が心に残ったことは助かった人のことです。地下のトイレには熱がとどいていなかったのが今の日本のように技術者が発達していなくてよかったと思えました。少しでも命が助かってよかったなと思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/2

私は原爆先生の話を聞き、改めて戦争の怖さを感じました。原爆先生の父が元安川の近くに着いた時、たくさんの人々が人間とは言えない、男女の区別もつかない、ひらがはかれ、肉が見えてしまうほど"やけど"をしている人々を見たその時のはい景が伝わってきました。また、衝撃波を受けた人で、黒いかげのしみだけが残ったことや、親子が一瞬で消えてしまったことを聞き、私は今で考えると、絶対にありえないことだと思いました。御幸橋手前で、17.8才の女性を目撃したこと、死体を運ぶことは、全く違うことだと思いました。原子爆弾が落とされる場所に条件があったことに驚きました。父親と一緒に原爆ドームに訪ねられた時、父親が、"たれさかたみふの女性の姿を見られた時、"きれすぎる。"と言った理由が伝わってきました。きっと、自分が体験した時と、全く違う姿だったのだと思うと思います。これからは、二度と起きないように願います。



じゅこ
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

こんかい原爆先生の特別授業のおかげで
はあつめていた疑問が、おそくか
がわりました。

ばくけい池田義三氏のお話を聞いて
聞いてごんごんお話を聞いて、
のつらみお話を聞いて、
いと悲しい。

こんかいまたアメリカの爆撃機
・ハイドラ爆撃機がある、その中には
おそくリトルボーイ、という核爆弾を
投下して、そのリトルボーイの長さは、
リトルボーイの重さは、
さしおとす、リトルボーイ、
その重さは、
約200mの長さ、
7.5(オ)7000℃中心温度(100万(オ)200万)
の温度、
おそく、
おそく、
おそく、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回の特別授業を受講して、原爆はとてまひどいと、改めて思った。それと同時に、こんなひどいことが、もう二度と、おこってほしくないとも思った。私が思っていたより、原爆は、ひどいものだった。たくさんの方が、死者が出たのは知っていて、それが「けでも、ひどいものだ」と思っていた。だが、今回授業を受け、相手は、被害者が、多く出る場所を、原爆を落とす位置に選び、しかも原爆はとてま温度が高くて、下、その周辺にいる人口を皆殺しにしようとしたのだ。計算しっくされていたのだ。とてまひどいことだと思う。そんなことをした、相手をうらむと同時に、死んでしまった人口が、とてまかたいそうだと感じた。結果的に、広島市内で、被爆者は24万人、死者は14万人にもおぼんざうた。広島市全体の約70%が被爆し、40%、5人に2人が命を失った。命はあっても、後遺しょうのうらなものは残る人もたくさんいると聞いた。戦争当事、戦争から、73年たった今でも、人を苦しめる原爆は、とてまひどい。かつての日本で起きた事と同じことが、二度とおぼてほしくないを願う。今のような平和な日本が、いつまでもつづき、いずれは世界中が平和になることを心から願う。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/2

今までぼくは、「戦争」と聞いたら国どうしが争いをして人々の命をうばうや、てはいけないことだと軽い感じで知っていましたが、今回の授業を受けて戦争に対する意志が変まりました。どのように変わる、たかというし国の争いで全く関係がない人の大切な命をうばうのだからや、てはいけないという事と、死せる人がいて悲しむ人がすごい増え生きる力をなくしてしまう人も存在するのだから、どんなことがあっても戦争はや、てはいけないことだと思いましたが、そしてぼくが池田義三さんに言いたいことが2つあります。

1つ目は、つらい経験をきて、今の世界がどのような状態だと思、ているかということ。

2つ目は、つらい人々を見てきて今の人々にや、てほしいことやこれからこの世界に来る子供に何を言いたいかということ。

最後に言いたいことは日本にある自衛隊は戦争のためにあるのではなく、ただ日本を守るためだけにあるということです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/2

ぼくは、原爆先生の特別授業を聞いて思ったことやおどろいたことは、たくさんあります。

1つ目におどろいたことは、広島に投下された「リトルボーイ」の事です。

なぜおどろいたかという、「リトルボーイ」というばくだんは全長3.12mあって、重さが約4tもあったのでそのことにおどろきました。

2つ目におどろいたことは、ばくだんが直後に落ちた時の衝撃波の速さのことです。なぜかという、毎秒が440mで音速が340mだったのでそのことにもおどろきました。そして最後におどろいたのは、ばくだんがおとされた原爆ドームの事です。なぜかという、いっしょに死者がでたからおどろきました。このことから、ぼくはこのようなばくだんがおとされないずっと続く平和な国であってほしいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

授業を受けて、たくさんを知りました。

今、ここにいられることがどれだけありがたいことか

とても考えさせられました。今まで知らないまま

戦争の本などを読んでいた時「光に一つまみこ

一しゅんできえるなんてありえない」と思っていました。

今回の貴重な体験で本物の戦争を知りました。

題名の「7000℃の少年」にはたくさんの思いが

つま、ていまして、戦争のむごたらしい姿に

恐怖を感じました。生々しい表現で何度も鳥肌

が立ちました。

放射線で今も苦しむ人たちは、どうにも

何もしてあげられない自分をうらみませ、

原爆先生のお父さんの「きらいあきる」の

一言がすごくひびきました。てんかいはかかれ

落ちるつかぬない手。どんぐりにつらからたか。

また、軍人の方のやさしさも、しっかりと

分かります。これ以上戦争が増えたり

ことを、願います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/2

原爆先生から原爆やその被害にあった人々の話を聞いて、私は、原爆というものは本当におそろしく、もう二度と使ってはいけないものだと分かりました。

原爆先生が被害にあった人のことを「人間であるのに、人間の姿をしていない」と説明してくれた時、私は鳥はたが立ってしまいました。どうしてかというところ、さっきまではふつうに過ごしていた人間が、原爆のおそろしい力で見るにたえない姿にかえられ、痛みや苦しさでもたえているという、今の私にはどうしても信じられないようなことが、本当に起こっていたからです。

今の日本はとて^{前まで}も平和で、私はあまり戦争のことはどうでもよく考えていました。なので、今回原爆のこわさを知り、戦争というものはしてはいけないと強く思わせてくださった原爆先生には、本当に感謝しています。